

平成 27 年度第 1 回市川市史編さん委員会 会議録

高橋主幹 本審議会の開催にあたりまして、現在、委員長、副委員長が決定しておりませんので、しばらくの間、中田部長が仮議長として委員会を進めさせていただきたいと思えます。委員のみなさま、よろしいでしょうか。

… 委員会の了承 …

高橋主幹 ありがとうございます。それでは、中田部長、よろしく願いいたします。

中田部長 ただいまより、平成 27 年度 第 1 回市川市史編さん委員会を開催いたします。会議に先立ちまして、定足数の確認をさせていただきます。ただいまの出席委員は、委員 10 名中 6 名であり、市川市史編さん委員会条例第 6 条 2 項に規定する開催要件である、過半数委員の出席を満たしておりますことを確認いたします。(傍聴者無)
それでは、会議次第の「1. 委員長、副委員長の互選」でございますが、まず、委員長の選出につきまして、市川市史編さん委員会条例第 5 条の規定により、委員の皆様の中からの互選となっております。どなたかご推薦をお願いいたします。

朽木委員 これまで吉村先生に適切な委員会の運営をしていただきましたので、これまで通り、引き続き吉村先生がよろしければ、お願いしたらよろしいかと思えますが、いかがでしょうか。

中田部長 ただ今朽木委員から、吉村委員のご推薦がありました。皆様いかがでしょうか。

… 委員会の了承 …

それでは、吉村委員、委員長をお願いできますでしょうか。

吉村委員 はい。微力ながら、まだ 1 冊も出ていませんので、1 冊出るまではやらせていただきます。

中田部長 ありがとうございます。委員長は吉村委員に決定いたしました。それでは、議長席に移動させていただきます。

議 長 それでは、引き続き会議を進めさせていただきます。「副委員長の互選」につきまして、どなたかご推薦ありますでしょうか。

山崎委員 昨年まで副委員長をやらせていただきました山崎ですけれども、耳が遠くなりまして、降りたいと思います。その代わり、米屋先生を推薦したいと思います。

議長 いま山崎委員より、民俗の米屋委員のご推薦がありました。本来ならば、引き続きやってくれた方がいいかと思っておりましたけれども、耳の方がお悪いという事で、その代わり米屋さんの推薦がありました。いかがでしょうか。

… 委員会の了承 …

議長 それでは、米屋さんがご欠席のため、最終的には次回の編さん委員会で、ご本人の承諾を得て、副委員長を決定することになるかと思えます。よろしいでしょうか。

… 委員会の了承 …

議長 それではそのように進めさせていただきます。
続きまして、会議次第の2番目になります「市川市史の「刊行計画」の見直しについて」に入りますが、ここで休憩いたします。

… 休憩 …

議長 それでは議事を再開いたします。会議次第「2. 市川市史の「刊行計画」の見直しについて」、平成27年5月29日付で市川市長より本委員会に対して諮問がなされております。中田部長より、諮問事項および諮問理由について説明をお願いします。

中田部長 市川市史編さん委員会 委員長吉村武彦様。市川市長大久保博。市川市史編さん事業「刊行計画」の見直しについて（諮問）。市川市史編さん委員会条例第2条1号の規定に基づき、下記事項について諮問します。

1. 諮問事項 市川市史の「刊行計画」の見直しについて。

2. 諮問理由 市川市史編さん事業は、「刊行計画」をもとに進めています。本計画においては、「市川市史」歴史編を平成28年度より順次刊行することを定めていますが、東京外郭環状道路の建設にともなう市内遺跡の発掘調査により新たな歴史的事実が次々と明らかにされており、この内容を踏まえた市史とする必要性が生じています。このたび発掘調査が行われた遺跡は、市川の歴史の大きな特色である「国府」「国分寺」「真間の入り江」といった主要なテーマに関わっており、これに係る新たな見解を市史に盛り込むことは、「市川市史」刊行の意義を高めるものであり、市民の需要も大きいものと考えます。このことから、発掘調査の成果を反映させた市史とすることができるよう、「市川市史」の刊行計画を見直

すことについて諮問するものです。
以上でございます。

議長 ただいまの諮問に対し、補足が事務局からありますでしょうか。

松尾課長 それでは私の方から、本件を審議していただくにあたりまして、補足の説明をさせていただきます。まず「市川市史」歴史編と発掘調査が進められている遺跡との関係についてです。このたび東京外郭環状道路の建設に伴いまして、発掘された市内遺跡の内、「市川市史」歴史編と関わりがあるものといしまして、北下遺跡、後通遺跡、道免き谷津遺跡、雷下遺跡の4つの遺跡がございます。これらの遺跡は縄文時代から平安時代の遺跡とされておりまして、「市川市史」歴史編では第1から第3巻で扱う時代と重なっております。お手元に、本日の資料で、現在の刊行計画をお配りしておりますので、ご覧いただければと思います。現在の刊行計画では平成28年度から30年度にかけて、第1巻から第3巻を順次刊行する予定になっております。平成27年度現在、まだ発掘調査の成果が十分に公表されていないため、現段階で執筆を開始することが難しい状況でございます。こうした第1巻から第3巻の状況をふまえて、現在予定しております市川市史の刊行時期を見直す必要があるのではないかと考えている所でございます。なおこれら遺跡の発掘調査は平成26年度末に終了いたしましたので、現在は出土資料等の整理作業が進められている所、とのことでございます。

以上諮問事項に関しまして、補足説明とさせていただきます。

なお、まことに申し訳ございません。部長、次長は次の予定がございます。ここで退席させていただきます。よろしく願いいたします。

… 部長、次長 退席 …

議長 ただいま事務局より諮問事項を補足する議題説明がありましたので、答申に向けた審議に入ります。

まず、「市川市史」歴史編には外環道路建設にともなう発掘調査の成果を盛り込む必要があるとのことですが、このことについて、ご意見等を承りたいと思います。

杉原委員 外環道路に関しては、我々が予想した以上に色々な各時代の遺跡・発見がありまして、これを除いては今回の市史は刊行する意味がないという状況になっていると思います。ぜひともその成果を今回の市史に盛り込みたい。それに合わせて、市史編さんを進めて、多少遅れてもそれだけの価値があるというふうに考えております。ただ、外環道路の工事の進捗状況などを考えますと、おおよその予想は立つというふうに考えております。だいたいこれを合せて、市史を

刊行していく。そういうことにするのが良いのではないかと、というふうに考えております。

なお、第1巻の「地形と環境」編ですが、前にお示ししました目次を、領塚学芸員と検討している所です。かなり大幅に変えることとなります。今回の第1巻の編さんに関しまして、項目通りやっていきますと、前回出した市史とあまり変わらない内容で、目新しさがあまり見えない。そういうような事から、今回は外環道路の調査成果をかなり中心に置いた市史を、第1巻で考えております。各項目・章立ての説明については、第1巻の担当者に集まっていただきまして、検討していただきます。そういうようなことを考えておりますので、よろしくお願ひしたいと思います。

議 長 他にいかがでしょうか。

今回ご存知のように、歴史編はこの間、国府・国分寺の調査がかなり進んでいます。ですから、時代を追っていくのではなく、問題別に巻を分けている訳です。僕は北下遺跡を数回見学させていただいていますが、どうも（まだ）公表されてない、いろいろな文字資料その他の遺物が出ているようです。それから例の（雷下遺跡の）舟とか。旧版に比べて、発掘調査その他が著しいという事で、今回市史にはこうした著しい調査成果を載せたいと思います。外環道路との関係で、さらに出てきたという事を反映しないと、結局（市史を）出したはいいが、また補遺を出さなきゃいけないという事になりかねないという趣旨かと思えます。特に国府・国分寺関係の成果を盛り込まないと、あまり意味がないように感じますので、刊行時期の延長はやむを得ない事かなと思えます。自然編は今年度刊行ですから、直接影響はしませんが、特に1・2巻、あるいは3巻については、一般的に考古学の発掘調査というのはそういう形でやっているものですから、やむを得ないかなと思えます。いかがでしょうか。何かご意見があれば。単に先延ばしするという事ではなく、市川の歴史を解明する上では、新しい事が出てきていることは間違いないようです。

山崎委員 せっかく資料が出るので、利用した方が良いのではないかと。（発掘のように）掘り返す作業はそう簡単にできないので、せっかくですから利用していただきたいという気持ちです。

議 長 第1巻・第3巻の刊行というのは特に関わりがありますので、市川市史刊行計画で、その刊行を延期する必要がある、という答申でよろしいでしょうか。

… 委員会の了承 …

議 長 それではそのようにさせていただきます。
それから、先ほどからも説明がありましたけれども、具体的な刊行計画という

のは、関係遺跡の発掘調査の成果がいつどのような形で公表されるか、現時点で明らかにされていない事柄が多いので、これが明らかになった時点で、改めて定めるということで良いでしょうか。

… 委員会の了承 …

議長 それでは、そのようにさせていただきたいと思います。
第1巻～3巻が遺跡の発掘調査報告が出てから決めるということになりました。第4巻、第5巻はいかがでしょうか。何かご意見はありますでしょうか。第1巻～3巻が延びるので、できたら第4巻あたり前倒しして刊行してもいいのではという気がしますが、竹内委員はいかがですか。

竹内委員 実際には予算の関係もあって、業務も集中的に1年間に3巻出すことになった場合実際的に無理ですから、バランスを取るということで、今お話された、1巻と3巻は、(刊行時期が)はつきりしないとしても、4巻は1年度前倒しして、平成30年度にすることについて第4巻の関係者間で了承を得ましたので、平成31年度のを平成30年度に第4巻の刊行を持ってくるということでもいいかと思えます。

議長 ありがとうございます。5巻の方は、米屋さんがいませんけれども、朽木さん、どうですか、5巻は。

朽木委員 この問題について話し合っている訳ではないので、私の個人的な意見を申し述べさせていただきますと、民俗は、前回市史にはなかったという経緯もありますし、途中専門員の交代等もあった関係で、今はかなり軌道に乗って調査が進んでおりますが、前倒しは難しい状況かと思えます。

議長 それでいいでしょうか、西海さん。

西海委員 はい。私もそう感じています。

議長 それでは、1・2・3巻の刊行時期を具体化するのには、延期させていただき、今の竹内委員の話ですと西暦で言うと2018年度を目標に第4巻を出してもらおう。そうしますと、1・2・3巻全部一緒に出すというのはとても無理ですので、そこも調整しながら進めていただいくということでいいでしょうか。

杉原委員 よろしいですか。

議長 はい。

杉原委員 そうすると第1巻・第2巻・第3巻の歴史編3巻は、具体的な発行年度は今決めないということによろしいでしょうか。

議長 今の所そういう答申になるということですね。問題はあるが、1・2・3巻の全部を2019年度（に刊行）という訳にもいかないでしょうから。それでは、1・2・3巻は延期する方向で、4巻は1年前倒して2018年度、第5巻は計画通り2019年度と、そういう方向で答申案を決めるということで、させていただきますと思います。他にご意見は何かあるでしょうか。

…意見なし…

議長 それでは、本日の審議内容をまとめまして、事務局と調整した上で答申案を作成し、次回の編さん委員会で、答申書の内容を最終的に確認することにしたいと思います。いいでしょうか。

…委員の了承…

議長 それでは、そのようにさせていただきます。
本日の議題についてはこれで終了となります。
どうもお疲れさまでございました。